

2024年度地域開発みちの会フォーラム

ジェンダー平等のために私 たちは行動する

「ジェンダー平等に関するアンケート調査」プロジェクト

目的：男女共同参画の施策に力を入れてもらうため

ジェンダー平等問題は、差別主義者の標的になる

ジェンダー平等問題は多岐にわたる壮大で重大な問題だが、成果が見えにくく即効性がなく、短期的な視点では経済効果が見えにくい

ジェンダー平等問題は後回しにされる

ジェンダー平等問題は予算も人材も削られる



ジェンダー平等問題の重要度を上げてほしい

データを取って、課題を可視化し、行政と市民が話し合い課題解決のために連携していく

2022年度

愛知県内54市町村へ「ジェンダー平等に関するアンケート調査」実施



データ分析



- ・ 県に提言書（配布資料）
- ・ 市町村に調査結果を公表（配布資料）
- ・ フォーラムで、県・市町村・議員・市民で調査結果について話し合う

2024年度

みちの会の市町、11自治体へ「ジェンダー平等に関するアンケート調査」実施



データ分析（配布資料）



フォーラムで市町の行政担当者と市民で、テーマを絞って、より目的意識をもって話し合う

2024年度調査結果から分かった進捗状況

1拠点施設 変化なし 県からの働きかけや財政支援がほしいところ

2プラン 変化なし 古すぎるのではという自治体が見られます

3選択的夫婦別姓 変化なし 今国会での成立が期待されます

4パートナー/ファミリーシップ 1自治体→8自治体 大きく前進

* 社会保障や財産権を婚姻と同じにしてほしいと全国の自治体から厚生労働省に要望する動きがあるので参加をお願いしたい

2024年度調査結果から分かった進捗状況

5行政職員の女性部長 1自治体のみ増加 武豊町33%、東海市30%

5中学校の女性校長 3自治体増加 美浜町50%、知多市40%

5女性が不参加の行政委員会 知多市と半田市0

* 固定資産評価審査委員会や監査委員会に女性がいないのはなぜ？

* 2自治体で農業委員会に女性委員が入り、良いことだと思われる

5女性が不参加の審議会 大府市0

* あて職をやめる、女性人材を探す努力をする、公募を増やす

2024年度調査結果から分かった進捗状況

6行政職員へのジェンダー平等研修 5自治体が全く実施していない

* 実施している自治体でも、部長・局長クラスへの研修は実施されていない

* 美浜町 管理職以上 * 半田市 市職員 * 名古屋市 受講機会多数

7教職員へのジェンダー平等研修 6自治体が全く実施していない

* 名古屋市 新規採用者から校園長まで、節目や役職就任に合わせて実施

2024年度調査結果から分かった進捗状況

8女性相談窓口 3自治体で開設できていない 名古屋市 電話・LINE相談

9防災会議 5自治体で女性割合増加（大府市43%→45%）

10課題（自由記述）

ジェンダー平等問題は法改正等が日進月歩で進んでおり新しい情報を取得していくことが課題である（東海市）

共通の悩みや先進事例など、ぜひ情報の公公連携を！

1自治体で調査したことを共有すれば職員の労力を軽減できる

官民連携こそ最大の推進力、最大の行政応援

(2022 愛知県への提言7)

地域開発みちの会は行政を応援します。